

香川県内民間企業の平成27年夏季ボーナス支給見込みアンケート調査結果

～ 夏のボーナス、3年連続で前年を上回る ～

概 要

1. アンケート回答企業におけるこの夏のボーナス1人当たりの「支給見込み額」は568千円となり、昨年夏季実績の545千円よりも2万3千円の増加（対前年比+4.22%）となった。夏のボーナスの支給見込み額が対前年の支給実績を上回ったのは3年連続である。
2. 産業別では、「製造業」の1人当たり支給見込み額は592千円で、昨年夏季実績の580千円から1万2千円の増加（対前年比+2.07%）となった。「非製造業」は529千円となり、昨年夏季実績の486千円から4万3千円の増加（同+8.85%）となった。
3. 全11業種のうち1人当たり支給見込み額が昨年夏季実績を上回った業種は6業種（製造業2業種、非製造業4業種）、下回った業種は5業種（製造業4業種、非製造業1業種）であった。
4. 1人当たり支給見込み額が昨年夏季実績より増加した企業の割合は回答企業数全体の50.4%、逆に減少した企業の割合は31.0%であった。

調査結果の内容

1. 支給見込み額

	全産業	製造業	非製造業
1人当たり支給額	568千円	592千円	529千円
対前年比(差異) ※	23千円	12千円	43千円
対前年比(増減率) ※	4.22%	2.07%	8.85%
支給月数	2.11カ月	2.18カ月	1.99カ月
対前年比(差異)	0.07カ月	0.01カ月	0.17カ月

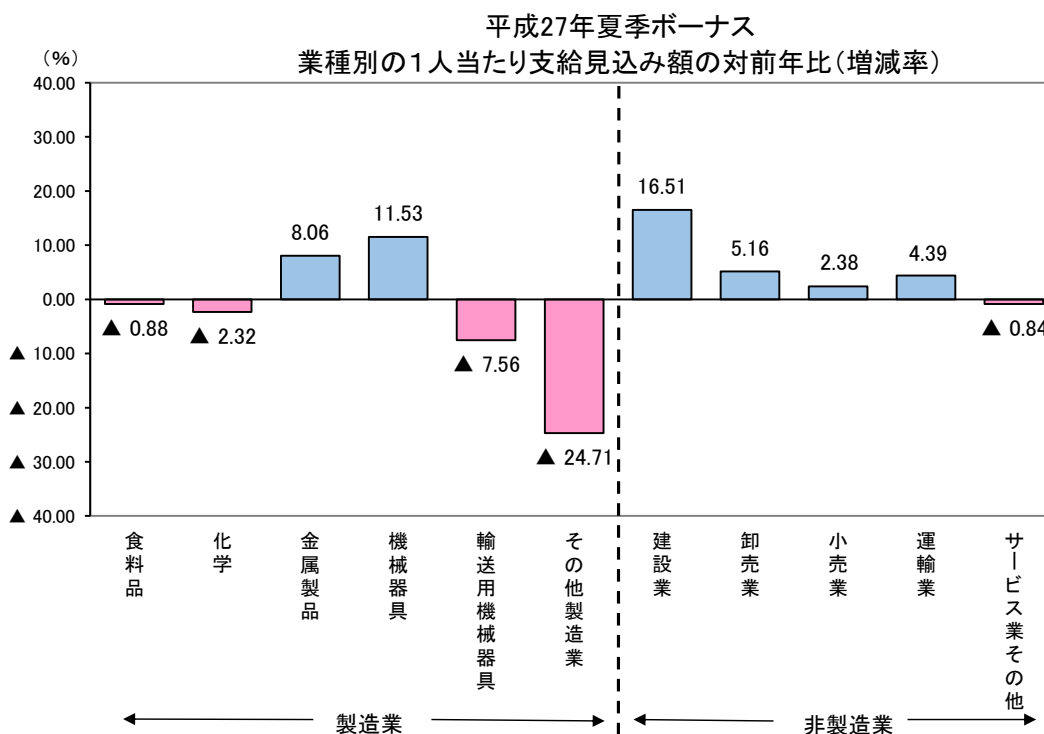
※ 1人当たり支給額の前年比の差異、増減率は千円未満四捨五入後の計数より算出（千円未満四捨五入）

2. 業種別の支給見込み状況（対前年比）

平成27年 夏季ボーナス支給（見込み）状況

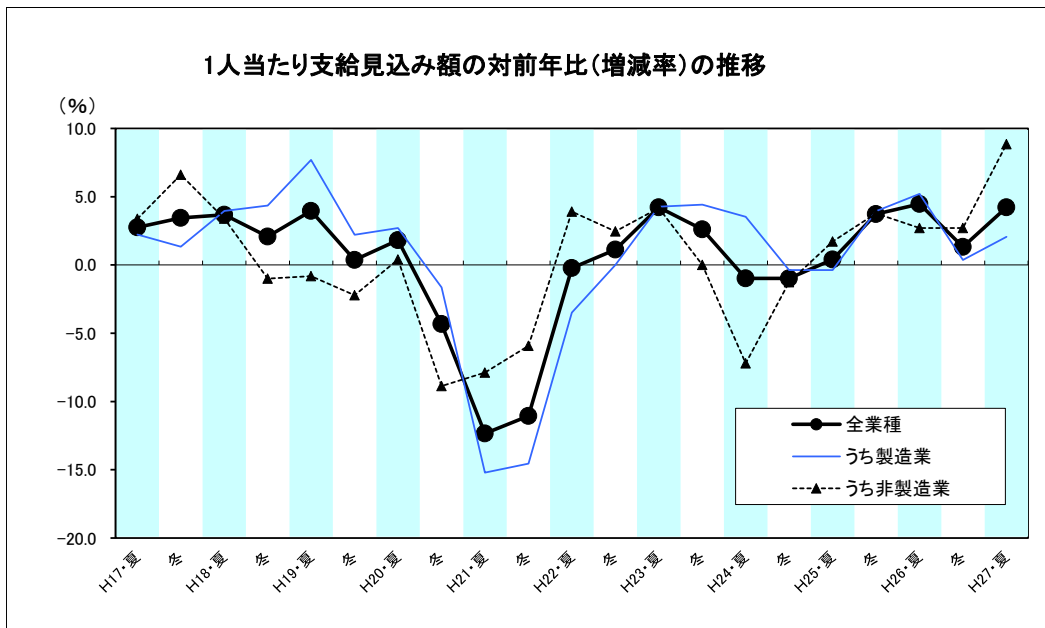
項目	1人当たり支給額(単位:千円)				平均年齢(歳)
	平成27年夏 a	平成26年夏 b	対前年比		
			差異 a-b	増減率(%)	
食料品	339	342	▲ 3	▲ 0.88	42.24
化学	589	603	▲ 14	▲ 2.32	38.73
金属製品	684	633	51	8.06	39.61
機械器具	764	685	79	11.53	38.02
輸送用機械器具	599	648	▲ 49	▲ 7.56	34.13
その他製造業	256	340	▲ 84	▲ 24.71	39.92
製造業	592	580	12	2.07	38.42
支給月数	2.18ヵ月	2.17ヵ月	0.01ヵ月	-	-
建設業	755	648	107	16.51	38.95
卸売業	428	407	21	5.16	40.25
小売業	301	294	7	2.38	40.36
運輸業	214	205	9	4.39	44.27
サービス業その他	588	593	▲ 5	▲ 0.84	39.97
非製造業	529	486	43	8.85	40.17
支給月数	1.99ヵ月	1.82ヵ月	0.17ヵ月	-	-
全産業	568	545	23	4.22	39.08
支給月数	2.11ヵ月	2.04ヵ月	0.07ヵ月	-	-

(注) ・1人当たり支給額の前年比の差異、増減率は千円未満四捨五入後の計数より算出
 ・支給月数はアンケート項目で未回答企業があり1人当たり支給額とは必ずしもリンクしていない



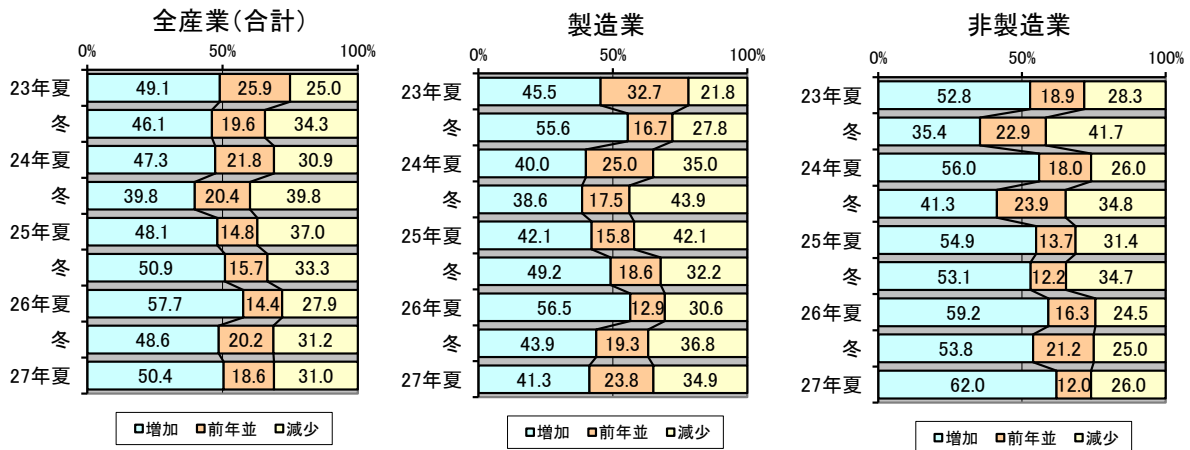
3. 1人当たり支給見込み額の対前年比（増減率）

夏のボーナスの1人当たり支給見込み額を対前年の支給実績と比較すると、平成27年夏季は4.22%増と、平成25年夏季（対前年比0.40%増）、平成26年夏季（対前年比4.47%増）に続き、3年連続で前年を上回って支給される見込みとなっている。



4. 1人当たり支給見込み額（対前年比）の増減回答企業数の割合

各企業の1人当たり支給見込み額を各企業の昨年の夏季支給実績と比較すると、支給見込み額が増加した企業の割合は50.4%、減少した企業の割合は31.0%であった。



(注)四捨五入の関係で内訳と合計が必ずしも一致しない

5. 調査要領

- 調査対象 香川県内に本社または主工場をもつ民間企業：280社
- 調査方法 郵送によるアンケート方式
- 調査時期 平成27年6月22日～7月21日
- 回答状況 有効回答企業数：113社
有効回答率：40.4%

(H27.7.29 百十四経済研究所 高木)